

2026年度 橋梁保全技術研修 検査点検コース（第66, 67, 68, 69, 70回） 受講者募集のご案内

名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

【重要】2026年度 橋梁保全技術研修(常設研修)に関するお知らせ

- ◆今年度より、橋梁保全技術研修(常設研修)検査点検コースの受講資格を変更します
(詳細は、2. 受講資格をご確認ください。)
- ◆常設研修受講申込(オンライン)について
申込者数が定員を超えた場合は、抽選により受講者を決定いたします。(2023年度より実施)

2026年度の橋梁保全技術研修 検査点検コース（第66, 67, 68, 69, 70回）を次のとおり実施しますのでご案内いたします。

1. 研修内容

橋梁点検業務に携わる技術者の方、橋梁点検実務を学びたい方などに適した中級コースで、機器を使用した点検実務、国土交通省「橋梁定期点検要領」に基づく「橋梁点検調書」の作成及び劣化機構の推定について、ニュー・ブリッジを使用して学習します。

研修の修了者には名古屋大学より「検査点検コース修了証」が発行されます。橋梁点検士判定試験の受験資格に必要な「修了証」の有効期間は発行日から3年間です。

本研修は土木学会認定CPDプログラムです。

2. 受講資格

本研修の受講にあたっては、以下に示すA、B、Cのいずれかの資格が必要です。

実務経験証明書または各資格の登録証等のコピーを提出してください。

また、1法人あたりの受講者数に制限を設けておりますのでご注意ください。詳しくは「5. 受講申込受付期間、方法」をご覧ください。

	受講資格	提出書類
A	<p>橋梁にかかわる実務経験を2年以上有すること</p> <p>※実務経験とは、橋梁業務を直接扱う機関（または組織、セクション）に在籍した期間の暦月合計とし、実務経験証明書提出時点における年数とする。橋梁業務とは、橋梁に関する巡回点検等の日常的な管理、設計、設計監理、工事（発注、施工、監督、施工管理）および研究・開発業務をいう。</p>	実務経験証明書 (当室の指定書式)
B	技術士第一次試験合格者(建設部門)	合格証
	技術士(建設部門)	登録証
	1級土木施工管理技士	合格証または 監理技術者資格者証
	土木学会認定(特別上級・上級・1級)土木技術者	技術者資格認定証
	RCCM	登録証
	<p>国土交通省登録技術者資格のうち、以下に該当する資格 ・施設分野:橋梁(鋼橋)または橋梁(コンクリート橋) ・業務:点検または診断 (該当する資格は、以下の表を参照してください。)</p> <p>※「国土交通省登録技術者資格」とは、公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程(平成26年11月28日付け国土交通省告示第1107号)に基づき、国土交通大臣の登録を受けた資格をいう。 https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000098.html</p>	各資格を保有していることを証明するもの
C	橋梁保全技術研修「基礎コース」修了後、橋梁にかかわる実務経験を1年以上有すること	実務経験証明書 (当室の指定書式)

<国土交通省登録技術者資格のうち該当資格（2026年2月27日現在）>

施設分野：橋梁（鋼橋）または橋梁（コンクリート橋）－業務：点検または診断

NO.	資格名称	事業名称	
1	橋梁点検士	国立大学法人 東海国立大学機構	名古屋大学
2	橋梁診断士		岐阜大学
3	社会基盤メンテナンスエキスパート		
4	道路橋点検士	一般財団法人橋梁調査会	
5	道路橋点検士補		
6	主任点検診断士	一般財団法人阪神高速先進技術研究所	
7	点検診断士		
8	都市道路点検診断士 旧:都市道路構造物点検技術者	一般財団法人首都高速道路技術センター	
9	都市道路点検士		
10	構造物の補修・補強技士	一般社団法人リペア会	
11	建造物保全上級技術者	一般社団法人国際建造物保全技術協会	
12	建造物保全技術者		
13	一級構造物診断士	一般社団法人日本構造物診断技術協会	
14	二級構造物診断士		
15	土木鋼構造診断士	一般社団法人日本鋼構造協会	
16	土木鋼構造診断士補		
17	インフラ調査士 橋梁(コンクリート橋)	一般社団法人日本非破壊検査工業会	
18	インフラ調査士 橋梁(鋼橋)		
19	コンクリート診断士	公益社団法人日本コンクリート工学会	
20	コンクリート構造診断士	公益社団法人プレストレストコンクリート工学会	
21	プレストレストコンクリート技士		
22	高速道路点検士(土木)	公益財団法人高速道路調査会	
23	高速道路点検診断士(土木)		
24	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人愛媛大学	
25	社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人山口大学	
26	特定道守コース	国立大学法人長崎大学	
27	特定道守(コンクリート構造)コース		
28	特定道守(鋼構造)コース		
29	道守コース		
30	道守補コース	ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会	
31	ふくしまME(基礎)		
32	ふくしまME(保全)	独立行政法人国立高等専門学校機構 舞鶴高専	
33	橋梁点検技術者		
34	橋梁診断技術者	琉球大学工学部附属地域創生研究センター	
35	ブリッジインスペクター		
36	橋梁AM点検士(道路部門)	公益財団法人青森県建設技術センター	
37	木橋・総合診断士	一般社団法人木橋技術協会	
38	土木設計技師	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会	

※38 土木設計技師（職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会）は2026年3月31日をもって終了・廃止されます。

2026年4月1日以降は同資格は無効となります。

3. プログラム

《第1日目》

カリキュラム	講師	形態
日本の橋梁の現状 ※	国土交通省中部地方整備局	座学
基準の変遷	建設コンサルタツ協会 中部支部	〃
変状の概説 (鋼)	日本橋梁建設協会	〃
変状の概説 (コンクリート)	プレストレスト・コンクリート建設業協会	〃
劣化機構の推定 (鋼)	名古屋大学	〃

《第2日目》

カリキュラム	講師	形態
劣化機構の推定 (コンクリート)	名古屋大学	座学
維持管理の流れ ※	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋	〃
詳細調査 (非破壊検査)	非破壊検査 (株)	〃
定期点検 (点検要領の解説)	建設コンサルタツ協会 中部支部	〃
定期点検 (点検調書解説)	建設コンサルタツ協会 中部支部	〃
実橋の劣化 ※	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋	見学
点検実務 (点検の着目点)	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋	座学

《第3日目》

カリキュラム	講師	形態
ケーススタディ ・劣化機構の推定 実橋の点検実習 ・損傷図作成 ・非破壊検査実習 ①打音点検および赤外線カメラによる空洞探査 ②コンクリートの中酸化試験 ③コンクリート中の鉄筋探査 ④鋼部材の疲労亀裂探傷試験	非破壊検査 (株) 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋	座学 ニュー・ブリッジ実習

(1) ※の講義は基礎コースでも行いますが、カリキュラムの構成上、検査点検コースでも設けています。ご了承ください。

(2) 都合により、カリキュラム・講師が変更になる場合があります。

4. 期日、定員、開催場所

回	期 日 (3日間)	定 員 <small>※変更の可能性あります。</small>	場 所
第 66 回	2026 年 5 月 13 日 (水) ~ 15 日 (金)	各 回 約 27 名	名古屋大学 (愛知県名古屋市千種区不老町)
第 67 回	2026 年 6 月 10 日 (水) ~ 12 日 (金)		
第 68 回	2026 年 7 月 8 日 (水) ~ 10 日 (金)		
第 69 回	2026 年 7 月 29 日 (水) ~ 31 日 (金)		
第 70 回	2026 年 12 月 9 日 (水) ~ 11 日 (金)		

- (1) 毎日の受講時間は、9時00分～17時15分の予定です。
- (2) 実習等はグループに分かれて受講していただきます。
- (3) 会場(名古屋大学)は、車両入講できません。公共交通機関でお越しください。
(名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅直結)

5. 受講料 30,000 円(税込)

※振込手数料はご負担下さい。納付済みの受講料は返還しません。

6. 受講申込受付期間、方法

※申込者数が定員を超えた場合は「抽選」とします。

(1) 受付期間※当室 HP (以下 HP) 参照

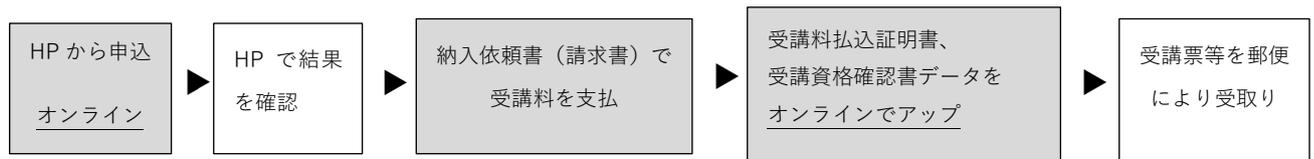
回	申 込 受 付 日 時	結 果 発 表	方 法
第 66 回	2026 年 3 月 24 日 (火) 9:30~17:00	3 月 27 日 (金)	オンライン受付後 抽選
第 67 回	2026 年 4 月 14 日 (火) 9:30~17:00	4 月 17 日 (金)	
第 68 回	2026 年 5 月 19 日 (火) 9:30~17:00	5 月 22 日 (金)	
第 69 回	2026 年 6 月 9 日 (火) 9:30~17:00	6 月 12 日 (金)	
第 70 回	2026 年 10 月 20 日 (火) 9:30~17:00	10 月 23 日 (金)	

- ※受講申込は、HP「常設研修申込ページ」に開設される申込フォームから申し込みください。
- ※抽選結果はHPにてお知らせします。申込時の受付番号をご確認ください。受講が決定した方には申込関係書類を郵送いたします。
- ※誤って同じ方が2件以上申込された場合、1件分の申込受付とします。
- ※第66回～69回検査点検コース修了者は、今年度(2026年度)の橋梁点検士判定試験が受験可能です。

【重要】

申込が完了しますと「受付完了のお知らせ」というメールが自動返信されます。メールの受信をもって受付完了となりますので、メールアドレスにお間違いのないようご注意ください。また、受信したメールは受講日まで保存してください。ご不明の点はメールにてご連絡ください。

(2) 受講申込



※ 申込フォームへの入力事項

- ① 氏名、フリガナ
- ② 生年月日、年齢
- ③ 勤務先名、勤務先所在地
- ④ 書類送付宛先の種別、書類送付先住所
- ⑤ 連絡先電話番号の種別、連絡先電話番号（連絡の取りやすい電話番号）
- ⑥ メールアドレス ※申込完了後にお問い合わせをすることがありますので、ご本人が受信できるアドレスを記してください。
- ⑦ 業種
- ⑧ 受講資格について
- ⑨ 橋梁に関する実務経験年数、実務経験内容
- ⑩ 保有資格(登録済み)
- ⑪ 当室研修の受講状況（基礎コース、検査点検コース、診断評価コース）

当室 HP
常設研修申込ページ
QRコード→



※ 応募多数の場合は、1 法人(会社、団体、行政機関等)2名までとし、超過した応募者は受講をお断りさせていただきます場合がございますのでご了承下さい。

※ 過去の受講から3年以内の方、または橋梁点検士判定試験に合格された方は原則お申込みいただけません。

※ 1名につき1件の申込とさせていただきます。重複分は無効となります。

※ 申込が完了された方に送信する完了メールは大切に保管してください。

(3) 受講料払込

- ① 受講が決定した方には当選発表後2週間程度で納入依頼書（請求書）（以下、納入依頼書）等を郵送します。2週間を過ぎても書類が届かない場合はご連絡下さい。
- ② ①でお送りした納入依頼書から期日までに受講料をお支払いください。
振込手数料はご負担ください。納入依頼書に付属の払込受領書もしくは金融機関発行の受領書を受け取って下さい。

(4) 払込受領書および受講資格確認書データの提出（オンライン）

払込受領書（受講料払込証明書）のスキャンデータおよび受講資格確認書（実務経験証明書もしくは資格登録証）データ（pdf、jpg等）を、期日までにアップロードしてください。アップロードの方法は納入依頼書に同封のお知らせにてご説明いたします。

(5) (4) の書類受理後、「受講票」、「受講の手引き」等を郵送いたします。

受講決定後のキャンセルはできません。

7. 荒天時の対応

荒天などによる研修の中止判断は名古屋大学の規程に準じます。

暴風警報（名古屋市）が6：45まで解除されない場合は研修を中止します。中止となる場合、その後の対応については、別途ご案内いたします。

8. 個人情報の取扱いについて

お預かりした個人情報は、「東海国立大学機構個人情報保護規程」に従い、適切に管理し、定められた利用目的の範囲を超えて利用及び提供はいたしません。ただし、本人の了承・同意がある場合や、法令に基づく場合は除きます。

◆その他研修・判定試験のスケジュール◆

※期日などは変更する場合があります。HPの最新情報をご覧ください。

(1) 基礎コース（2日間）

	期 日	定 員 <small>※変更の可能性があります。</small>
第 29 回	2026 年 9 月 17 日 (木)、18 日 (金)	約 30 名
第 30 回	2026 年 11 月 5 日 (木)、6 日 (金)	約 30 名

(2) 診断評価コース（2日間）

	期 日	定 員 <small>※変更の可能性があります。</small>
第 13 回	2026 年 7 月 2 日 (木)、3 日 (金)	約 30 名

(3) 橋梁点検士判定試験および橋梁診断士判定試験

2026 年 9 月 27 日 (日)

※受験に際し、修了証には有効期限（3 年）があります。

※詳しくは当室 HP をご覧ください。

<問い合わせ先>

国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

☎ 052-789-3726

🌐 <https://n2u-bridge.jp/>

✉ N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp



橋梁長寿命化推進室 WEB サイト

<https://n2u-bridge.jp/>